

# おうちのはなし

268

畠は礼節を教えてくれる。自然と履物を脱ぎ替り足になる。  
畠は自由を教えてくれる。家具の様式も異国の敷物も受け入れる。  
遠い文化の残滓がこの国にまで届いて宝にされて来たのだから。



## 日本の「木の文化」と家

—世界遺産と私たちの住まい

- ・世界最古の木造建築「法隆寺」
- ・世界自然遺産「屋久島」「白神山地」
- ・世界文化遺産「白川郷」「富岡製糸場」

### 『障子の発明』

古民家に泊まる機会がありました。それは大変な雪の日で、景色は素晴らしい美しかったのですが、とにかく寒い。

暖房も効かない！

とにかく部屋を暖かくしようと、窓際の障子をすべて閉めました。

すると、ぐんと部屋があたたかくなってしまったのです。障子を閉めているのといいのとでは違いです。こんなに温度が変わるんだとみんな驚いたのです。暖房もしっかり機能し始めました。

そして思いました。寒さをしのぎたい、けれど明かりは欲しいと思った時に、和紙を使おう

と思った人、すごい発明をしたのですね。和紙を張るために細い桟を組み、それがまた、とても繊細なデザインにもなっている。



障子だと、窓の結露も少なく、部屋の湿度も良いあんばかりに保たれます。障子を発明した人はすごいと改めて思いました。たぶん寒さだけでもなく、その機能性の高さから日本中の家に使われるようになったのですから。木と紙と土でできている日本の家ですが、機能美も含め最もサステイナブルな建築なのだと思います。

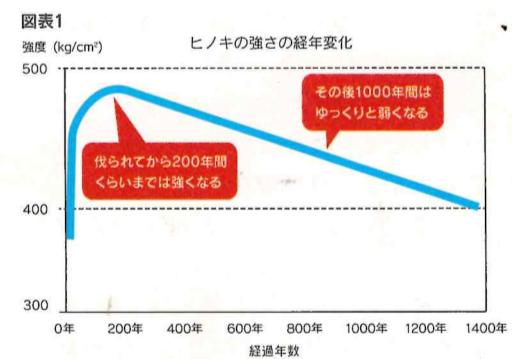
### ママはインテリアコーディネーター

一般社団法人 日本インテリアアテンダント協会 理事長 小川千賀子

に撒いて肥料にし、土に戻します。地球環境保護の時代のお手本は、日本の「木の文化」の中にあるといつても過言ではありません。

和紙のような無形文化遺産と同じように、日本の世界遺産を見ると、現実の住まい文化にも通じる「木の文化」がたくさんあります。

るくらいですから、なによりもヒノキは建材として向いている材です。じつは建立された当初より、ヒノキ材は強度が増しています。建てられて200年ほどで2割ほど強くなり、その後1000年かけて強度が劣化します。ですから、建立されて1300年経った今は、ちょうど建立当時の強度になっているくらいです。(図表1)



朝日選書262 「日本人と木の文化」(小原二郎著)より「古材の強さ(ヒノキ)」を参考にして作成。強度は圧縮強度。

法隆寺と同じ1993年に、白鷺城の姫路城も世界文化遺産になりました。同じように大事な心柱には直径1mものヒノキが使われています。

法隆寺の昭和の大改修では、日本にはヒノキの大樹がなく、台湾檜を使いました。しかし、戦後の植林では需要も見込まれてヒノキがたくさん植えられました。そしてしっかり生長して、今では充分に使える量になりました。現在建てられている木造住宅の柱にも、よく使われています。



**世界遺産と私たちの住まい** 寺社建築だけではなく、古民家として残されている建物でも、世界に特有の木組みの技術を使って建てられ、日本は「木の文化」といわれています。そして現代の新築の戸建て住宅でも、多くは木造住宅を守り続けています。日本の世界遺産を通じて、身の回りの住まいにある日本の「木の文化」を感じながら暮らしてみましょう。

### 日本と「木の文化」

世界の中でも日本人ほど、歴史が長く細やかに木を使いこなしてきた民族はないでしょう。それは建物にとどまらず、生活の中に深く染み込んでいます。

2014年に世界無形文化遺産になった和紙の原材料も木です。日本に豊富にあるさまざまな樹木の中から、楮を選び出し、独特の流し漉きによって長

い繊維の丈夫な和紙を生み出しました。和紙は日光の紫外線を浴びるほど白さが増してくるといわれています。

その他にも履物や家具をはじめ、さまざまな調度品に木を使っています。まさに適材適所という言葉の通りに、木を使いこなしてきました。

さらにこれらの調度品は、使い切った後に燃やしてエネルギーとして利用することも忘れません。それで終わりではなく、さらに燃えて残った灰は烟

もともと日本書紀の中でも、お宮はヒノキで造るものとしています。社寺の他に仏像も大陸から伝わってきましたが、日本で造られるようになると、仏像もやはりヒノキが使われます。特有の芳香で気分を落ち着かせ、抗菌効果がある成分を多く含んでいるのがヒノキです。清潔感のあるヒノキは、銘木としては料理店のカウンターなどにもよく使われています。

最古の木造建築物として残されてい

## 「屋久島」とスギ

同じ1993年に世界自然遺産として登録されたのは、屋久島と白神山地です。どちらもスギとブナの原生林が残されています。屋久島の縄文スギは国際的に有名で、ホットスポットとして訪れる人も多くいます。このスギも、ヒノキに劣らないほど日本の「木の文化」の主役です。



日本書紀にはヒノキと同じようにスギも出てきます。スギは船を造るのに適している材とされています。

そもそも日本書紀に

記されている物語は、最も古い日本の植林の歴史といえます。スサノオが自分の体毛を抜いて投げて日本の山を森にしてゆくのです。ヒゲを投げるとスギになり、胸毛がヒノキになります。

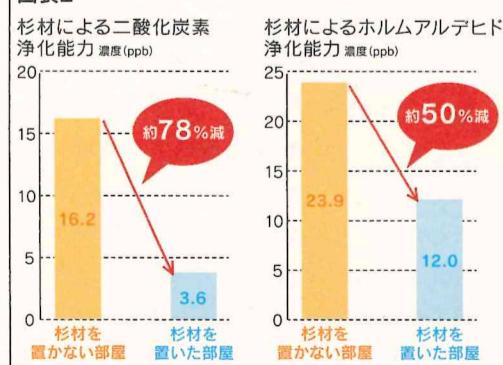
その前段にはスサノオの植林活動の動機が記されていて、韓の国と対抗できる「浮宝」を求めたとあります。「浮宝」とは船のことです。つまりスギが植林の目的であったということになります。

このスギは1種1属の、日本固有の樹木です。学名もクリプトメリア・ヤボニカといい、日本(=ヤボニカ)という単語が使われています。その意味は、「日本の隠された財産」で、命名者はスギが日本を代表する材であると考えていたのです。世界にはトルコスギとかレバノンスギという国を代表する樹木がありますが、じつはこれらは松の一種に近く、日本のスギとはまったく違うものです。

そのスギの源種は、屋久島にあるといわれています。海流などによって自然に広がるだけではなく、人が使うために植林をして日本中に広がりました。今では、北海道もあります。

スギは桶や樽などの日用品などにもたくさん使われてきました。もちろん、住宅でも使われています。たくさん植えられて安い材であると同時に、じつは高級木材の代表もあります。肌理の美しさから、仕上げ材として使われるものはヒノキの比ではないほど高級です。スギの節の味わいを残した材が、桂離宮では長押に使われています。

### 図表2



## 世界遺産と私たちの住まい 日本の「木の文化」と家

和室の天井材も理想はスギ材です。新建材を作るときにも、スギの柾目や板目がプリントされているほどです。

スギは大気汚染に弱く、綺麗な空気を吸って生長します。しかし一方、建材となると空気を浄化する機能が顕著であることがわかつてきました。(図表2)

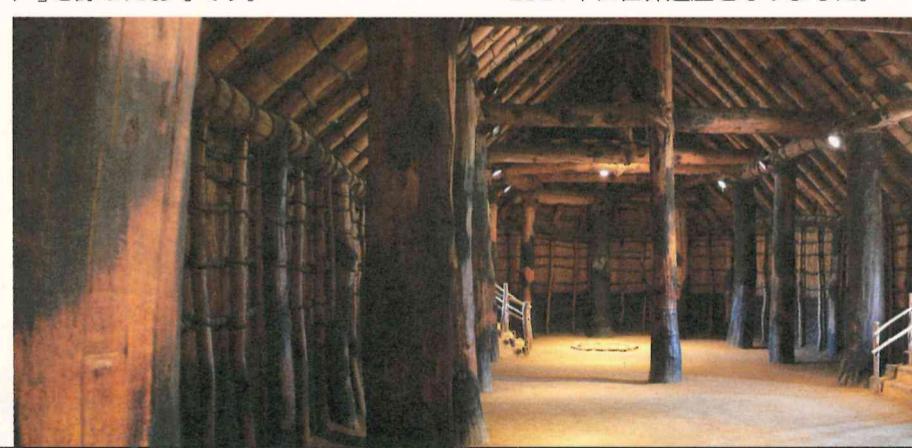
スギの芳香は優しく長持ちして、肌ざわりも柔らかく温かみがあります。本来は傷がつきやすく床材には向かないのですが、傷も楽しむことにしてフローリングに使用する人も増えてきました。肌に触れてスギ材を楽しめば、遠く世界自然遺産の屋久島からのつながりを感じられるかもしれません。

## 「白神山地」とブナ

青森と秋田の境にある白神山地は、世界最大級のブナの原生林があることで世界自然遺産に登録されています。ブナの実が動物の餌になることもあります。森の女王と呼ばれています。

先のヒノキやスギの植林によって、多くのブナの原生林は伐採されてきました。世界遺産はその残りですが、ブナも日本を代表する木です。

しかしブナは、ヒノキやスギに比べるととても腐食しやすく、狂うので建材としての用途はほとんどありません。そのため「ぶんなげる材」ということから、名付けられたともいわれます。ただ山形県の山寺、立石寺の一部に使われているのが確認されています。松尾芭蕉が「閑かさや岩にしみ入る蝉の声」を詠ったお寺です。



それでもブナはよく乾燥させて、室内で使う家具やフローリングには使われるようになってきました。強度と弾力性があるので、曲げ木にすることもできます。針葉樹とは違い、見た目も優しいブナの家具を手に入れたら、白神山地の森の女王を思いながら大切にしてください。

## 「白川郷」とクリ

1995年に世界文化遺産に登録された白川郷は、日本の原風景のひとつです。手のひらを合わせるように屋根をかけた「合掌造り」が特徴です。釘を使わずに繩で縛って組まれていることも、現代の制震構造と同じ効果を発揮しているといわれます。住まい文化の知恵には、現代の科学以上に奥深さがあります。この白川郷の住宅は、クリ材を使って建てられています。



クリは、じつはブナ科の樹木です。ところがブナとは違い、腐りにくく水にも強いので白川郷のように構造材として使われてきました。しかもスギやヒノキよりも歴史的には古く、縄文時代の遺跡からも出土します。北海道・東北の縄文遺跡群の、中心となる三内丸山遺跡でもクリの大木でできた櫓跡が発見され、2021年に世界遺産となりました。

さらにクリの実の遺伝子の調査から、集落周辺にはクリが植林されていたことがわかつてきました。スサノオよりも前に日本人はクリを植林をして、食料としても建材としても使ってきました。

クリは昔から建築では土台などに使われていました。ブナと同様にフローリングや家具になるものもあります。しかし今ではあまり蓄積量もなく、見かけることが少なくなっています。

腐りにくく、硬くて丈夫なクリは、鉄道の枕木に、よく使われていました。庭づくりなどでリサイクルの枕木を使えば、縄文人からの日本人の息吹を感じられるかもしれません。

## 「富岡製糸場」とクリ

2014年に世界文化遺産となった富岡製糸場は、日本の絹産業の中心地でした。産業としての世界遺産としては石見銀山と並び、近代遺産としては負の遺産である原爆ドームと並びます。富岡製糸場と絹産業遺産群の中で、数々の物語も生まれてきました。日露戦争で勝ったのも、当時世界一となつた絹生産の収益があったからです。



この産業を支える絹の生産には、養蚕が欠かせません。製糸は工場でできても繭は工場ではなく、養蚕農家の2階で「おかいこさま」と呼び、家族と同じように暮らしながら飼われていました。1階の囲炉裏の火の熱を利用して、蚕を育て繭を生産していました。絹産業は熱エネルギーも利用した、いわば繭の家に支えられていたのです。

そして蚕が育つには、クリの葉が必要です。クリは果樹でもあり、漢方薬にもなる用途の多い身近な樹木です。硬くてしっかりしたクリ材は、琵琶などの弦楽器に使われ、杖にすれば高級品となります。

建材としては、銘木として床の間の周辺で使われています。今ではすっかり樹脂やアルミになってしましましたが、よく使われていたのは、襖の棟です。光沢がなく本物の木の質感がある襖棟に出会ったら、ほんとうに伝統的な格式の高い建物であることが分かります。



こうして世界遺産を振り返ってみて、日本の「木の文化」を感じることができます。身近にある適材適所の木材にも愛着を感じます。世界遺産を意識しながら、住まい文化を愉しみ、住まいづくりの夢を描くのも良いのではないでしょうか。

キ  
ニ  
ナ  
ル  
マ  
ド  
リ



### 古民家風モダン

築100年以上の入母屋屋根の古民家を改修したのかと思わせるClassicなデザインの家の中にモダンな空間をつ

1F 33.0坪 2F 8.0坪 TOTAL 41.0坪

くる。LDKには小屋組を見せる吹抜があり、家の奥の階段から隠し小屋裏部屋に登ってゆく。

### 友達が来ても大丈夫

普段は広く使える部屋は、友達もゆっくり過ごせるね!

すまレピ  
すまいのレシピ



### キッズルーム

シーリング	KOIZUMI/AHN636406	床フローリング	永大産業/XA-203
シーリング	ODELIC/OL211700L	壁・天井クロス	リリカラ/XA-203
ブラインド	タチカワ/AB-7304/R-060	幅木	大日本印刷/WS-261E
クッションA	フジエテキスタイル/WF34010R	アクセントクロス(柱)	リリカラ/LV-8460
クッションB	フジエテキスタイル/WF250015	アクセントクロス(壁)	EMPORIUM HOLDEN/CITY 96780

**H & S**  
health sustainability

### 資源が待っている

ロシアのウクライナ侵攻の影響で、エネルギーの危機が続いている。日本は資源のない国といわれ、自給自足など遠い世界のように思えます。エネルギーだけではなく、食料輸入率も高く、住宅建材としての木材も同様です。

アメリカはシェールガスの開発を進め、石油価格の上昇とともに価値も高

まり、あっという間に有数の産出国になりました。日本近海でのメタンハイドレートの採掘や再生可能エネルギーの開発も叫ばれていますが、今一つ遅く感じます。

でも、意外にも日本は農業生産高では世界でもトップ10に入る国であり、森林率では先進国中では3位で、人工林が多く着実に木材は生長しています。

日本の森林全体では、年間に1億m<sup>3</sup>の木



材が増えています。単純な割り算をすれば、1分間に170m<sup>3</sup>の木材が増えているということです。ちょっと贅沢に木材を使った住宅で換算すると、10棟分の木材量に匹敵します。

ただし、伐採して運び出さなければ使うことはできません。しかも生長して増えている量が、そのままで使えるわけではなく、製材して乾燥させ材木として活用できるのはおよそ3割程度です。それ

にしても、1分間に住宅3棟分もの木材が育っているということになります。

この量は、近年の住宅着工数の2倍以上であり、戸建住宅で考えれば5倍近い木材資源が蓄積されているのです。

資源が乏しいと思って見ていた景色も、ちょっと違う見方をしなければならないかもしれません。海を見ればメタンハイドレートの資源を想像し、森を歩けば30歩毎に1棟分の木材が生まれています。

うまく使いこなせば、資源がそこにあります。そして持続可能な社会をつくり上げるのを待っています。

## おうちのはなし

いつかは建てる、  
住まいづくりのための、  
情報紙「おうちのはなし」



\*発行内容は予告なく変わることがあります。

日本の住宅建設の扱い手  
住まいづくりの手順  
長期優良住宅制度  
建てるなら、やっぱり木の家  
家歴書の価値  
洋風デザイン・和風デザイン  
建築費の内訳の見極め方  
住まいづくりにかかる諸経費  
太陽光発電住宅特集  
家庭内事故と対策  
これからの住まいと暮らし

⋮

住宅情報紙「おうちのはなし」を年間購読しませんか？

年間24回発行×単価220円+配送料110円  
年間7,920円(税込)  
毎月1日・15日頃、ご自宅にお届けいたします。

TEL 03-6272-6434  
FAX 03-6272-6449

〒102-0072 日本橋蛎殻町1-3-5 7F  
[www.ouchi874.org/](http://www.ouchi874.org/)

一般社団法人 住まい文化研究会

リフォームに、新築に、  
住まいづくりのセカンドオピニオンをお届けします。

おうちのはなし 220円(税込)

こんにちは、  
アールです!  
L.R.コンサルティング株式会社  
代表取締役 吉川浩一

www.ouchi874.org/

発行人:一般社団法人 住まい文化研究会  
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町1-3-5 7F  
主筆 石川新治

## おうちの家計簿

住まいの資金と税金

0245 10,000 2023-2024

太陽光発電の導入をお客様に勧めるときの一つのネックとしてFIT(再生可能エネルギーの固定買い取り制度)が終了する11年目からの買い取り単価がかなり下がることがあげられます。たとえば2023年度に太陽光発電を設置した場合、当初10年間は1kWhあたり16円で買い取ってもらいますが、11年目からの各電力会社への売電単価は下記7円~9円程度と非常に低いレベルに留まっています。新電力の中には期間限定などの条件付きで10円以上の買い取りをする会社も出てきていますが、まだまだ自信をもってお勧めできるレベルではありませんでした。

エリア	北海道エリア	8円	売電単価
東北エリア	9円		
東京エリア	8.5円		
中部エリア	7円		
北陸エリア	8円		
関西エリア	8円		
中国エリア	7.15円		
四国エリア	7円		
九州エリア	7円		

ところがここへきて嬉しいニュースが飛び込んできました。

シン・エナジー(株)(乾正博社長)は1月25日より、家庭用太陽光発電のFIT

制度期間満了を迎える顧客を対象に、卸電力取引市場と連動した価格で余剰電力を買い取るサービスを開始しました。同社によると卸電力取引市場と連動した買取サービスは日本で唯一といいます。

今回開始されるサービスは、東京電力パワーグリッド管内を対象エリアとし、買取単価はJEPXの30分ごとのkWhあたりの取引価格に80%を乗じた金額となります。算定した30分ごとの単価に、該当する時間ごとの買電量を乗じた価格の1か月間の総和が月間の買取料金になります。同社試算による買取価格は15.63円/kWhとなり、顧客はHEMSなどの機器を導入する必要はありません。サービスの普及目標は3月頃までに5,000件。顧客が申し込み後、1~2か月後に買取開始となり、開始日は検針日に合わせます。

この試算だと来年以降はFITの買い取り単価を上回る金額で売電できるようになります。FIT終了後の売電価格を心配する必要がなくなり、一気に太陽光発電が普及するきっかけになりました。

で、より目立つかもしませんね。

非常に多くの園芸品種があることも、多くのガーデナーたちにも親しまれている要因です。バラやクレマティスに次ぐほど人気の高い植物なのです。春のガーデンセンターを訪れるとき、シャクナゲ売り場がコーナーとして設けられており、シャクナゲを知らない人はいないでしょう。

シャクナゲはツツジ科に属している常緑性の低木です。もともとツツジ科は約30系統に分かれており、シャクナゲは、ロードデンドロンとよばれるひとつです。

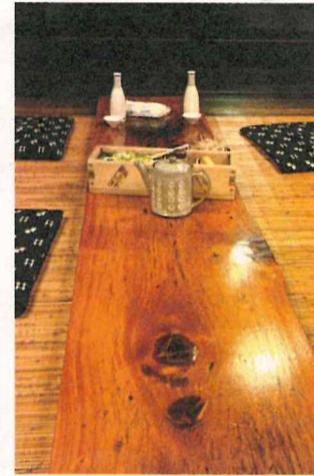


世界にはロードデンドロンが原種だけで約1,000種以上あるともいわれ、園芸品種はその10倍以上あると考えると、とても壮大な植物ですね。もともと高冷地に自生しているため、夏期には冷涼な気候を好むシャクナゲですが、耐暑性・耐寒性をもった強い品種が多く改良されてきました。シャクナゲの原産地はヒマラヤが多く、日本をはじめ、アジア、北アメリカ東部、ヨーロッパにまで達します。

シャクナゲはツツジやサツキと同じツツジ科ツツジ属の仲間ですが、常緑性で枝先に6個程度の花をつけるものをシャクナゲ、落葉性で枝先に3

なります。室町時代には中国から、テーブルや椅子がもたらされ一時は広まりかけたのですが、結局ほとんど膳が使われるようになりました。上足の家で床に座る文化の日本には、膳の食卓が向いていたのでしょうか。

また、個別の膳の上に載せる小さな器がたくさん作られたことも、条件のひとつに数えられます。それは食器の生産性の高さを表すことでもあります。茶人もさまざまな器を開発し、懐石料理はこうした食文化から生まれてきたものだと考えられます。ここでも和食がユネスコの世界無形文化遺産になったことの一環がうかがわれます。



この食器の多さが、日本のキッチンの特徴です。膳は台盤ともいわれ、台盤がある場所が台盤所、それが台所と転じました。キッチンの語源が「火を使う処」であることと比べると、文化の違いが良くわかります。食文化は住まい文化とも、深いかわりのあるものです。

個程度の花をつけるものをツツジと呼び、一般に区別しています。

日本の在来種には、エゾシャクナゲ、アズマシャクナゲ、ホンシャクナゲ、ホソバシャクナゲ、ツクシシャクナゲがあります。

さて、このシャクナゲですが、世界の分布をみると、もともと原種は非常に幅広く存在します。セイヨウシャクナゲと一般に私たちが呼んでいる種類の大半がアジア原産の種と、欧米原産の種との交配によってつくり出された園芸品種です。ヨーロッパのシャクナゲは、まずアルペンローズ(RHODODENDRON FERRUGINEUM)で、他にはアメリカ原産のカタウビエンセ(Rhododendron catawbiense Michaux)が有名な原種です。



### 世界を魅了したシャクナゲ

欧米を旅して日本と共に植物たちに頻繁に出会うことがあります。英国やオランダ、ドイツなどの北ヨーロッパの4月は、シャクナゲが満開の時期を迎えます。

日本では、少し標高の高い地域や場所で見かけるので、ロンドンの街中で見かけると圧倒されます。宿根草や花木が本格的に花開くシーズンの前なの

で、心地よい暮らしは、あたらしい窓から。

組合せは全21パターン

外観色 ブラウン カームブラック ピュアシルバー ホワイト ブラチナステン  
内観色 クリア ナチュラル ダークブラウン ホワイト ブラチナステン

断熱性に優れた樹脂を室内側に使った「エピソードNEO」。エアコン効率を高めながら、不快な結露も抑えます。お好みのカラーが選べて、インテリアにもマッチ。毎日の暮らしをもっと素敵に、もっと快適に彩る、あたらしい複合窓です。

※【平成28年省エネルギー基準】建具とガラスの組合せによる開口部の熱貫流率 樹脂と金属の組合

材料製建具+Low-E複層ガラス(中空層10mm以上) 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内

「平成28年省エネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」による。

あたらしいアルミ樹脂複合窓  
ネオ  
**エピソードNEO**

窓  
を考える会社  
YKK  
ap



YKK AP株式会社 お客様相談室 0120-72-4134 受付時間／月～土9:00～17:00(日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)